



かがやき

きくがわしりつおがきたしょうがっこう がっこうだよ
菊川市立小笠北小学校 学校便り

がっこうきょういくもくひょう
学校教育目標
重点目標

「自信をもち
「気づき 考え

自分の力を発揮する子」
挑戦する子」

令和8年9月25日

令和8年度 全国学力・学習状況調査 本校の調査結果概要

4月23日(木)に実施した「全国学力・学習状況調査」の本校の結果をお知らせします。この調査は、毎年小学校6年生と中学3年生を対象に行われています。全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、子どもへの教育指導の充実や学習状況の改善に役立てることを目的としています。

1 国語・算数の正答率について

全国との比較(◎平均を上回る ○ほぼ平均[±3ポイント以内] ▲平均を下回る)

教科	平均正答率	領域別				
国語	53 全国 60.9 静岡 60	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと	言葉の特徴や 使い方	情報の取扱い
		▲	▲	▲	▲	▲
算数	51 全国 56.4 静岡 56	数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用
		▲	▲	▲	○	▲

2 学力問題調査結果に見られた本校児童の特徴(○良い表れ ▲課題)

(1) 国語

○話の中心や構成を捉える「話すこと・聞くこと」「読むこと」の力

→領域「話すこと・聞くこと」の平均正答率は 61.3%と、全国平均(65.8%)に比較的近く、一定の成果が見られました。特に問題 1-1(構成メモの工夫)では正答率 72.0%(全国 72.0%と同等)を記録しており、話し合いの構成や意図を理解する基礎的な理解力が見られました。また、問題 3-3(2)(自分の経験と結び付けて考えを書く)では、正答率 72.0%と全国平均 76.4%に近く、全体の大まかな構造を理解したり、自分の考えを素直に表現したりする力が付いています。

▲情報を整理して活用・表現する力

→学習指導要領内容の「情報の扱い方に関する事項」は平均正答率 39.0%(全国 52.3%)と大きく下回りました。中でも問題 2-4(集めた情報から抜き出して書く記述問題)は正答率 22.0%(全国 34.0%)と低く、必要な情報を選択・集約して条件通りに記述する活用力に顕著な課題が見られました。

【今後の指導について】

- ・単に文章を要約するのではなく、「与えられた条件(～について、～から抜き出して等)」に合わせて情報を整理し、根拠を明確にして書く活動を取り入れる。
- ・基本的な漢字の習得には一定の定着が見られたため、練習を継続する。
- ・無解答が少なく、何かしら考えを表現しようとしていた。授業や単元テスト等では、自分の考えや振り返りを書く活動を継続し、考えを表現することへの抵抗をなくしていく。

(2) 算数

○基本的な数概念や構造を理解し、条件を比較して直感的に判断する力

→「測定」の領域が最も高い77.0%の正答率でした。全国平均(78.1%)や県平均(77.8%)には及ばないものの、時間や基本的な数量の関係を捉える問題において、一定の定着が見られました。問題 2(3)「混み具合の比較と判断」(正答率 40.0%)では、全国平均(36.1%)および静岡県平均(38.8%)を上回っています。ペンギンがいる二つの広場の混み具合を求める式の意味を理解し、どちらが混んでいるかを正しく判断する思考力・判断力においては、全国基準以上の成果が見られました。

▲条件を組み合わせて「立式・説明する活用力」

→「B 図形」領域の平均正答率が44.0%(全国 55.3%)と大きく下回りました。図形の性質や構成要素(面や辺)を直接扱う問題では定着が見られたものの、問題1(4)(宅配便の送料を調べるため、図形要素から辺の長さを捉えて求め方を言葉や式で記述する)では、正答率33.0%(全国 45.4%)と大きく下回りました。図形の性質や構成要素に着目し、日常の課題に合わせて必要な長さを判断して式や言葉で表現する(活用する)力に課題があります。

【今後の指導について】

- ・「数値を答えて終わり」ではなく、「解き方の理由や式」をセットで書かせるなどして、情報を整理し、説明できる力を高めていく。
- ・基礎・基本となる概念を捉える力や計算力はある程度定着しています。今後も個人思考を促し、自力解決する時間を積極的に設けたり、お互いの考えを伝え合ったりしながら、全体の思考を高めていく。

3 児童質問紙に見られた本校児童の特徴

【小笠北小のきらり輝く子どもたち】～質問紙調査から見えた、本校の強み～

1 自分を愛し、夢を描く心(自己肯定感と未来への希望)

- ★「自分にはよいところがある」 59.7% (全国平均より 約+15%)
- ★「将来の夢や目標を持っている」 71.0% (全国平均より 約+13%)
- ⇒ 自分を信じ、未来へ期待する強い心が育っています。

2 自ら学び、みんなで高め合う力(主体的・協働的な学び)

- ★「自分で学び方を考えて工夫する」 37.1% (全国平均より 約+8%)
- ★「友達と協力して課題を解決する」 61.3% (全国平均より 約+8%)
- ★「学級会で意見を生かし合って決める」51.6% (全国平均より 約+16%)
- ⇒ 自分で考え抜く力と、仲間を尊重し協力し合える温かい関係性があります。

3 地域や社会に目を向ける広い視野(地域への愛着)

- ★「地域や社会をよくするために何かしたい」 48.4% (全国平均より 約+16%)
- ⇒ 周りの人や地域社会の幸せを願う、思いやりに満ちた豊かな心が育っています。

【保護者の皆様へ】

このような素晴らしい成長は、ご家庭での温かい支えと励ましがあってこそです。これからも、子どもたちの「自信」と「可能性」を家庭と学校で一緒に育てていきましょう。